

71. おむつカバーの研究

(3) カバー作製に必要な身体計測値と通気、防水カバーの形態的考察

福岡女子大 平松 園江
花田瑠美子

1. 乳児の尿量回数，防水布の濡れの滲透抵抗，通気等をしらべ，更に各種防水カバー内の温度を調らべ，現在市販されているカバーは夏期用の場合特に改良の必要を認め改良の方向は略明らかとなった。そこでおむつカバーを作製するにあたって，材料の研究のほかに形の工夫が必要と思われる。それに伴いそれに必要な身体各部を計測しよりどころを得ると共に通気防水のための形について工夫し得た，いくつかの考察を基とし衛生的で便利な物を作製する基準を研究するための中間報告である。

2. 身長体重胸囲は栗山吉永値が標準に多く用いられている。各部の計測値は佐藤・小林等の報告がある。それ等に準拠し，身長，体重は身長計体重計，その他の部分は巻尺を用いた。臍位と肋骨直下の腹囲，腰囲，大腿囲，恥骨から臍位，恥骨から膝まで等の各部を各月令別に男女35名内外宛約820名について計った。漏尿，大便よごれ等の原因をまづ瓢単形使用を用い成績をし，次第に工夫した。

3. 身長，体重，胸囲は栗山，吉永値を上回った。各部寸法は男児優位なるも顕著差はない。腹囲，腰囲の関係は個人差大である。各値は年令別に報告をする。

形の上での通気の工夫は多く尿洩れ大便で汚す原因となるか，完全でにないか，緊縛形の工夫で防止できる。